

練習問題 - 解答・解説

【解答】

①長野 ②金沢 ③高知 ④那覇 ⑤札幌 ⑥高松

【解説】

まず①は年間の降水量が約 1000 mm と少なく、1 月の平均気温が氷点下になっています。つまり内陸性（中央高地の）気候であり、長野（ながの）です。同じく年間降水量が少ないのは⑤と⑥ですが、⑤は年間の平均気温が低いいため北海道の気候で札幌（さっぽろ）と分かります。また⑥は、①や⑤と比べて温暖なので瀬戸内海の気候であり高松（たかまつ）です。

②は夏より冬の降水量が多く、これは雪が多く降っているからだと分かります。そのため日本海側の気候で、金沢（かなざわ）です。

残る③と④ですが、年間を通して暖かく気温差の小さい④が南西諸島の気候で那覇（なは）。③は比較的気温差が大きく夏場の降水量が多い太平洋側の気候で高知（こうち）です。

▶雨温図から都市を判断する問題では、瀬戸内海の気候や日本海側の気候など特徴がはっきりしていて分かりやすいものから解いていき、分かりにくいものは最後に消去法で解くという方法をオススメします。